

## 「学校評価」アンケートの実施について

平成19年6月「学校教育法」同年10月に「学校教育法施行規則」の改正により、自己評価及び学校関係者評価の規定が設けられ、平成20年1月31日、文部科学省により「＜改訂＞学校評価ガイドライン」が作成されました。

評価の内容は、①教職員による自己評価と結果の公表、設置者への結果報告(義務)、②学校関係者評価(努力義務)、第三者評価(将来課題の三段階の作業が求められています。周知のとおり、自己評価は学校改善に資する意味で、教育内容の向上、業務の効率化、リスクマネジメント、教職員の啓蒙・意識付け、情報の共有化など、様々な効果をもたらす可能性を持っています。また、自己評価による学校改善の取り組みを広く公表することによって学校のPRとなる側面も持っています。

本校(清明学院)としては、前年度に続き「①教職員による自己評価と結果の公表、設置者への結果報告」について、下記の自己評価アンケートを作成しましたので回答をお願いいたします。

- ※ 提出期限は2月29日(月)といたします。
- ※ 「集計票」を教頭連絡箱に提出ください。
- ※ 提出者の名前記入は必要ありません。

回答は、A : よくあてはまる      B : ややあてはまる  
C : あまりあてはまらない      D : まったくあてはまらない でお答えください。

### 学校評価アンケート ＜教職員による自己評価＞

分類	評価の観点	評価項目	設問	評価
学校運営	私学の独自性	1. 教育方針	教育方針が生徒・保護者に理解されている。	
		2. 愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	
		3. 集団行動について (体育実技)	生徒集団の規律維持に役にたっている。	
	教育課程	4. 学習指導要領の 対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	
		5. 教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立て、計画に基づき実施している。	
		6. 新教育課程 (27年年度入学生対応)	新教育課程は生徒の実態にあっている。	
	教科指導	7. 指導内容	各教科は指導内容の工夫・改善につとめている。	
		8. シラバスの作成	生徒が年間の授業内容・進度等を良く理解できるように、綿密なシラバスを自ら作成している。	
		9. 指導方法	教科内の意志疎通が十分である。	
		10. 授業内容	生徒が授業内容に満足するよう、自分自身は十分な準備をした上で授業に臨んでいる。	
		11. 授業開始	授業はチャイムと同時にスタートしている。	
		12. 発問	適切な発問をすることで、生徒の集中力が持続できるように自分自身心がけている。	
		13. 板書	適切な発問をすることで、自分自身わかりやすい授業を心がけている。	

分類	評価の観点	評価項目	設問	評価
学校運営	教科指導	14. 定期的な課題	授業内容の定着を図るために、自分自身生徒に課題を定期的に課している。	
		15. 生徒の満足度	生徒の満足度自分自身の授業を受けることにより、生徒は満足している。	
		16. 学力向上	自分自身の授業を受けることにより、生徒は学習に対する意欲をかき立てられ、学力を伸ばしている。	
		17. 成績評価	成績の評価基準・方法は教科方針に沿い適切に実施している。	
		18. 家庭学習について	各教員は、家庭学習の習慣を積極的に生徒に身につけさせている	
	教職員連携	19. 校務分掌における教員の連携状況	分掌内で相互理解がなされ、信頼関係に基づき教育活動が行われている。	
20. 学年団における教員の連携状況		学年内で相互理解がなされ、信頼関係に基づき教育活動が行われている。		
教育内容	情報教育	21. 情報モラル指導	情報発信に伴う責任など情報のモラル面の教育を十分取り組んでいる。	
	人権教育	22. 退学生徒について	退学生徒の防止について各教員は積極的に取り組んでいる。	
		23. 家庭訪問	退学生徒の防止のため、自分自身家庭訪問を積極的に実施している。	
	環境教育	24. 環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	
		25. 実践的態度の育成	生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	
	生徒会活動	26. 生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう、学校全体が支援している。	
	その他	27. 部活動	自分自身は部活動の顧問活動を積極的に取り組んでいる。	
		28. ボランティア	ボランティア活動は活発である。	
		29. 学校行事	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	
		30. 国際理解	修学旅行を通じて他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	
		31. 公開授業	公開授業は自分自身積極的に取り組んでいる。	
生徒指導・支援	生徒指導	32. 生徒指導の一貫性	生徒指導は共通の方針に基づき、各教員は校則やきまりをきちんと生徒に守らせている。	
		33. 礼儀・あいさつについて	生徒の指導体制に組織的に対応する集団指導の体制がある。	
		34. 家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携ができています。	
	生徒支援	35. 自習室の設置について	自習室は生徒の学習支援の場として機能している。	
		36. 進路指導について	受験に際し、生徒の学力に応じた分析等の支援体制がある。	

# 学校評価アンケート「集計用紙」

(A～Dから一つ選び○印で記入)

分類	項目 No.	評 価				分類	項目 No.	評 価				分類	項目 No.	評 価					
学 校 運 営	1	A	B	C	D	学 校 運 営	13	A	B	C	D	教 育 内 容	25	A	B	C	D		
	2	A	B	C	D		14	A	B	C	D		26	A	B	C	D		
	3	A	B	C	D		15	A	B	C	D		27	A	B	C	D		
	4	A	B	C	D		16	A	B	C	D		28	A	B	C	D		
	5	A	B	C	D		17	A	B	C	D		29	A	B	C	D		
	6	A	B	C	D		18	A	B	C	D		30	A	B	C	D		
	7	A	B	C	D		19	A	B	C	D		31	A	B	C	D		
	8	A	B	C	D		20	A	B	C	D		32	A	B	C	D		
	9	A	B	C	D		教 育 内 容	21	A	B	C		D	生 徒 指 導 ・ 支 援	33	A	B	C	D
	10	A	B	C	D			22	A	B	C		D		34	A	B	C	D
	11	A	B	C	D			23	A	B	C		D		35	A	B	C	D
	12	A	B	C	D			24	A	B	C		D		36	A	B	C	D

平成27年度 学校評価アンケート

分類	評価の観点	評価項目	設 問	回答者 51人				
				A(%)	B(%)	C(%)	D(%)	無回答(%)
学校運営	私学の独自性	1. 教育方針	教育方針が生徒・保護者に理解されている。	11.8	80.4	7.8	0.0	0.0
		2. 愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	7.8	56.9	31.4	3.9	0.0
		3. 集団行動について (体育実技)	生徒集団の規律維持に役にたっている。	54.9	35.3	7.8	2.0	0.0
	教育課程	4. 学習指導要録の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	39.2	47.1	13.7	0.0	0.0
		5. 教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立て、計画に基づき実施している。	29.4	41.2	27.5	2.0	0.0
		6. 新教育課程	新教育課程は生徒の実態にあっている。	19.6	52.9	21.6	5.9	0.0
	教科指導	7. 指導内容	各教科は指導内容の工夫・改善につとめている。	30.0	42.0	24.0	4.0	2.0
		8. シラバスの作成	生徒が年間の授業内容・進度等を良く理解できるように、綿密なシラバスを自ら作成している。	18.0	40.0	36.0	6.0	2.0
		9. 指導方法	教科内の意思疎通が十分である。	18.0	38.0	32.0	12.0	2.0
		10. 授業内容	生徒が授業内容に満足するよう、自分自身は十分な準備をした上で授業に臨んでいる。	34.0	52.0	12.0	2.0	2.0
		11. 授業開始	授業はチャイムと同時にスタートしている。	58.0	24.0	16.0	2.0	2.0
		12. 発問	適切な発問をすることで、生徒の集中力が持続できるように自分自身心がけている。	50.0	40.0	10.0	0.0	2.0
		13. 板書	適切な板書をすることで、自分自身わかりやすい授業を心がけている。	52.0	40.0	8.0	0.0	2.0
		14. 定期的な課題	授業内容の定着を図るために、自分自身生徒に課題を定期的に課している。	50.0	32.0	14.0	4.0	2.0
		15. 生徒の満足度	自分自身の授業を受けることにより、生徒自身は満足している。	10.0	70.0	16.0	4.0	2.0
		16. 学力向上	自分自身の授業を受けることにより、生徒は学習に対する意欲をかき立てられ、学力を伸ばしている。	10.0	68.0	18.0	4.0	2.0
	教職員連携	17. 成績評価	成績の評価基準・方法は教科方針に沿い適切に実施している。	52.0	40.0	4.0	4.0	2.0
		18. 家庭学習について	各教員は、家庭学習の習慣を積極的に生徒に身につけさせている。	13.7	51.0	33.3	2.0	0.0
		19. 公務分掌における教員の連携状況	分掌内で相互理解がなされ、信頼関係に基づき教育活動が行われている。	17.6	41.2	27.5	13.7	0.0
		20. 学年団における教員の連携状況	学年内で相互理解がなされ、信頼関係に基づき教育活動が行われている。	19.6	43.1	35.3	2.0	0.0

分類	評価の観点	評価項目	設問	回答者 51人				
				A(%)	B(%)	C(%)	D(%)	無回答(%)
教育内容	情報教育	21. 情報モラル指導	情報発信に伴う責任など情報のモラル面の教育を十分取り組んでいる。	19.6	39.2	33.3	7.8	0.0
	環境教育	22. 退学生徒について	退学生徒の防止について各教員は積極的に取り組んでいる。	27.5	52.9	17.6	2.0	0.0
		23. 家庭訪問	退学生徒の防止のため、自分自身家庭訪問を積極的に実施している。	28.0	42.0	20.0	10.0	2.0
		24. 環境問題意識向上	ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	15.7	27.5	37.3	19.6	0.0
		25. 実践的態度の育成	生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	33.3	39.2	25.5	2.0	0.0
		生徒会活動	26. 生徒会活動支援状況	生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	21.6	45.1	25.5	7.8
	その他	27. 部活動	自分自身は部活動の顧問活動を積極的に取り組んでいる。	47.1	23.5	21.6	7.8	0.0
		28. ボランティア	ボランティア活動は活発である。	9.8	19.6	43.1	27.5	0.0
		29. 学校行事	体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。	29.4	39.2	27.5	3.9	0.0
		30. 国際理解	修学旅行等を通じて他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。	19.6	47.1	29.4	3.9	0.0
		31. 公開授業	公開授業は自分自身積極的に取り組んでいる。	23.5	39.3	21.6	15.7	0.0
生徒指導支援	生徒指導	32. 生徒指導の一貫性	生徒指導は共通の方針に基づき、各教員は校則やきまりをきちんと生徒に守らせている。	15.7	41.2	37.3	5.9	0.0
		33. 礼儀・あいさつについて	生徒の生徒指導に組織的に対応する集団指導の体制がある。	21.6	47.1	27.5	3.9	0.0
		34. 家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携ができています。	25.5	52.9	21.6	0.0	0.0
	生徒支援	35. 自習室の設置について	自習室は生徒の学習支援の場として機能している。	31.4	39.2	17.6	11.8	0.0
		36. 進路指導について	受験に際し、生徒の学力に応じた分析等の支援体制がある。	27.5	45.1	21.6	5.9	0.0

「私学の独自性」の観点については、1 教育方針 3 集団行動に関して高評価となっている。

「教育課程」の観点について、5 教育計画の評価が分かれており、計画の実施状況など検証を要する。

「教科指導」の観点について、おおむね高評価ではあるが、18 家庭学習について 生徒に習慣づけさせられていない課題がみえる。

「教職員の連携」の観点については、評価が分かれており、さらに信頼関係をもち、チームとして教育活動にあたるようにしたい。

「教育内容」については、21 情報モラル指導について課題がみえる。昨今のネットへの不適切な書込や画像投稿など、モラル面の学習を強化したい。

また、24 環境問題意識向上・28 ボランティア・31 公開授業の項目に課題がみえる。

環境問題については、日々の美化活動などを通して関心を高めるなどしていかなければならない。ボランティアについては、生徒会・JRC役員に任せきることなく、全校生徒の課題としていかなければならない。

公開授業については、多くの保護者へ来ていただけるように働きかけ、教員もさらに積極的にとりくまなければならない。

「生徒指導・支援」について、校則やきまりを守らせなければならないが、教員により強弱の差が出ているという課題がみえる。

自習室の利用状況に関して、生徒の自主性、自学させる取り組みなどさらに充実させなければならない。